

令和4年(2022年)10月7日
厚生委員会資料
地域支えあい推進部
健康福祉部

令和3年度の新型コロナウイルス感染症に係る医療・生活・経済支援 対策事業の実施結果及び令和4年度の取組状況について

区がこれまでに講じてきた令和3年度の対策事業の実施結果及び令和4年度の取組状況について報告する。

1 令和3年度の対策事業の実施結果について

区は、区内の感染状況や国・都の対策などの局面に併せて「医療」、「生活」及び「経済」の3つの柱を軸に対策の総合調整等を行い、国や東京都の補助金等や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などを活用し、様々な事業を実施してきたところである。これらの3つの柱ごとの主な取組は、次のとおりである。

(1) 医療など最前線の現場環境を支える

区民のいのちと健康を守るための取組として、区は、いち早く、ワクチン接種体制の構築を行った。接種券の送付や高齢者に対する接種予約の周知及び予約支援、保健所への問い合わせ対応体制の強化等により、希望する区民の迅速なワクチン接種を実施した。また、PCR検査センター事業、コールセンター事業、積極的疫学調査、患者移送、入院費公費負担等を実施し、区民が安心して相談や医療が受けられる体制を確保した。

感染拡大の防止策としては、区立施設の利用制限、利用者の検温や設備等の消毒などの感染対策を行った他、区内の障害者・介護施設や民間の子ども施設などへの感染対策経費の助成等を行った。

(2) 生活や子育て・介護などを支える

緊急事態宣言下などで、経済活動が制限される中、区民の生活を支える取組として、国の制度による子育て・ひとり親世帯への生活支援特別給付金、住民税非課税世帯等給付金などの事業の他、区独自の新生児特別定額給付金も併せて実施し、セーフティネットの取組を行った。

自宅療養者へは東京都の制度の対象外となる短期間の療養者への食料品等

の配送、要介護者の支援については、支援者及び受入れ施設の確保等の体制整備を行った。

区立の小中学校においては、学習系ネットワークの強化を行い、子ども食堂に対しては、運営助成金を交付することにより、子どもと子育て家庭の食のセーフティネットを強化した。

(3) 経済の再生に向け事業者を支える

営業自粛や売上減による経営悪化が引き起こす経済の負の連鎖を断ち切るための取組として、キャッシュレス決済によるポイント還元事業や商店街におけるキャッシュレス化の推進等の取組を実施してきた。指定管理者に対しては、スポーツ施設や文化施設の利用制限に伴う補償を行うことにより、安定的な指定管理業務が維持された。

各対策事業の実施結果は、別添資料1のとおり。

2 令和4年度取組状況について

別添資料2のとおり。

(参考) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

(1) 令和3年度実績

705,476,000円

(2) 令和4年度概要

交付見込額 計 1,034,228千円

(内訳)

・通常分	117,055千円
・コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分	548,684千円
・電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金	368,489千円

令和3年度新型コロナウイルス感染症に係る医療・生活・経済支援対策事業

1. 医療など最前線の現場環境を支える

No.	事業名	実績額(円)	令和3年度成果、令和4年度の対応状況など	所管部
1-1	窓口対応等における感染症対策	15,048,603	購入した物品により、窓口等での感染症対策の強化が図られると共に、来庁者の不安解消に寄与した。感染状況を踏まえ、令和4年度も引き続き感染症対策を行う。	各部・局・室
1-2	新型コロナウイルス感染症対策	526,799,879	コールセンター事業、PCR検査センター事業、積極的疫学調査、患者移送、入院費公費負担等を実施し、区民が安心して相談や医療が受けられる体制を確保することができた。 <ul style="list-style-type: none"> ・会計年度任用職員採用 医師 2人、看護師 1人、保健師 1人、事務補助 1人 ・PCR検査センター検査実績 5,423件 ・民間救急車移送件数 664件 ・医療費公費負担 1,547件 ・感染症審査協議会 実施回数 24回 ・入院診査 依頼回数 158回 	健康福祉部
1-3	夜勤看護師派遣	28,202,082	夜間時間帯に派遣看護師8名を配置することにより、疫学調査等にかかる夜間時間帯の体制の強化を図ることができた。	健康福祉部
1-4	軽症者等搬送用車両の拡充	8,316,000	軽症者の入院時の移送に当該車両を活用することにより、民間救急車委託料の削減につながった。自力でPCR検査センターに来られない区民が、安心してPCR検査を受けることができる体制を確保した。 (PCR検査センター送迎件数:2,088件、入院患者移送件数:814件)	健康福祉部
1-5	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業【一部繰越】	2,669,944,367	希望する区民に対して、新型コロナワクチンを接種できる体制を確保することができた。 <ul style="list-style-type: none"> ・1・2回目接種 接種券送付 12歳以上 約324,000件 <ul style="list-style-type: none"> 集団接種 区民活動センター15か所、中野区医師会館、中野サンプラザ 個別接種 区内医療機関 ・3回目接種 接種券送付 12歳以上 約263,000件 <ul style="list-style-type: none"> 集団接種 中野サンプラザ 個別接種 区内医療機関 ・小児接種【5歳～11歳】 接種券送付 約15,400件 <ul style="list-style-type: none"> 集団接種 中野サンプラザ 個別接種 区内医療機関 	健康福祉部
1-6	高齢者へのワクチン接種予約に関する周知	2,792,297	65歳から74歳の接種券が入っている封筒にワクチン接種予約開始日を記載したシールを貼付し、予約開始日を周知することができた。インターネットの利用に慣れていない75歳以上の高齢者に対して、ハガキを用いてワクチン接種の予約に関して周知できた。 (送付件数:65歳～74歳 約31,500件、75歳以上 約37,400件)	健康福祉部

No.	事業名	実績額（円）	令和3年度成果、令和4年度の対応状況など	所管部
1-7	保健所の電話料、ガス料、水道料および電気料増加への対応	6,023,869	新型コロナウイルス感染症対応に伴い、平常時に比べて増加している区民からの相談等へ対応する体制を確保することができた。	健康福祉部
1-8	保健所レイアウト変更	74,800	保健所の業務増に対応するため、新たな事務室の設置に伴う固定電話の配線工事等を行った。	健康福祉部
1-9	新型コロナワクチン電話対応体制の強化	9,769,100	保健所内に電話機を増設し、新型コロナワクチンに関する保健所への問い合わせについて対応を強化することができた。 (入電応答件数:6,669件、電話機賃貸借:6台)	健康福祉部
1-10	高齢者に対する新型コロナウイルスワクチン接種予約支援	7,120,109	中野区が保有する要支援者情報台帳システムを活用して、電話もしくははがきにより接種を勧奨するとともに、接種を希望する方の予約を区民活動センターで支援・代行したことにより、高齢者の新型コロナウイルスワクチンの接種を進めることができた。 (職員による個別電話勧奨:4,128件、勧奨ハガキ発送件数:22,292件、予約支援対応実績:933件のうち、予約支援件数678件)	地域支えあい推進部
1-11	新型コロナワクチン2回目接種勧奨	346,000	1回目接種から4週間以上経過しても2回目の接種又は予約が確認できない方へ接種勧奨を行った。 (接種勧奨ハガキ発送数:約5,400件)	健康福祉部
1-12	保健所携帯電話賃借	1,549,969	最大30台の増台を行う事により、積極的疫学調査や医療機関など関係機関、感染症疑いのある者やその濃厚接触者等との緊急連絡に効果的に使用することができた。令和4年度も引き続き対応を行う。	健康福祉部
1-13	入院医療費公費負担	12,096,680	入院医療費の公費負担を実施することにより、区民が安心して相談や医療が受けられる体制を確保することができた。令和4年度も引き続き対応を行う。	健康福祉部
1-14	抗体検査の実施	107,800	新型コロナウイルスワクチンの集団接種の際に発生した誤接種の対象者及びその同時間に接種を受けた方の中で、抗体検査を希望する方に対して検査を実施し、抗体値を把握できた。 (抗体検査実施件数:14件)	健康福祉部
1-15	高齢者施設等の感染症対策設備整備推進事業	14,793,000	補助金の支出により、新型コロナウイルスの集団感染が発生しやすい介護施設等において、ウイルスを居室外に漏らさないようにする簡易陰圧装置を設置することにより、感染拡大防止に一定の効果があつた。 (補助件数:4件)	地域支えあい推進部
1-16	産後ケア施設感染拡大防止対策	3,494,480	感染症対策の強化が図られ、利用者及び事業者の不安の軽減につながり安定的な産後ケア事業の継続ができた。	地域支えあい推進部

No.	事業名	実績額（円）	令和3年度成果、令和4年度の対応状況など	所管部
1-17	新型コロナウイルス感染症在宅療養者への配薬事業に対する支援金の支給	825,000	新型コロナ在宅療養者への投薬を速やかに行うための環境整備の支援ができた。新型コロナ在宅療養者が引き続き発生していることから、令和4年度も同様の事業を実施している。	健康福祉部
1-18	新型コロナワクチン3回目接種に伴うシステム改修及び接種券印刷・発送	21,579,000	予防接種履歴管理システム改修し、3回目接種可能日の約1か月前に区民の手元に接種券が届くように順次発送することで、新型コロナワクチン3回目接種に対応した。 (接種券発送数：約254,000件)	健康福祉部
1-19	新型コロナウイルス感染症区内病院病床確保補助金	3,780,000	入院が必要とされる新型コロナ療養者に対する医療提供体制の整備を支援することができた。令和4年度も継続して事業を実施している。	健康福祉部

2. 生活や子育て・介護などを支える

No.	事業名	実績額（円）	令和3年度成果、令和4年度の対応状況など	所管部
2-1	自宅療養陽性者緊急支援事業	1,337,219	職員が配送することで、プライバシーを確保しながら迅速に対応ができた。 自宅療養者の外出制限が徹底されることにより感染拡大防止を図り、対象者の生活維持・不安解消に一定の効果があった。 (累計配達数:190セット)	地域支えあい推進部
2-2	在宅要介護者受入体制整備事業	9,447,154	感染拡大に伴う要介護者の支援について、支援者及び受入れ施設の確保等の体制整備を整えることができた。	地域支えあい推進部 健康福祉部
2-3	感染症対策相談・助言体制の確立、感染症予防研修	144,420	研修後のアンケートを実施し、30か所の保育施設が回答した。研修の満足度は80%であり、今後の業務に役立つとの回答は87%であった。オンライン研修により忙しい現場でも受講しやすく効果的だったとの回答が多くを占めた。また、内容も具体的に理解しやすく疑問の解消に役立つとの回答も多かった。令和4年度も引き続き感染症予防・対応力向上研修を実施する。また、平時からの感染症対策や発生時における感染拡大防止のための具体的な行動や対応について助言・指導を行う。	健康福祉部
2-4	オンラインツールを活用した介護予防・フレイル予防活動支援事業	1,602,949	高齢者の身近な活動拠点である高齢者会館にタブレット端末を配置し、自宅でできる体操等を紹介してICT活用を促進した。また、地域の高齢者のICT活用を支援する「なかのICTサポーター」を募集・育成した。	地域支えあい推進部
2-5	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の支給	340,784,633	申請から概ね3～4週間程度で支給し、生活に困窮する世帯に対して迅速に支給することができた。本庁舎1階に設置している受付窓口及びコールセンターでは大きな待ち時間なく対応を行い、生活困窮者への支援を遅滞なく実施した。申請受付期間の延長に伴い令和4年度も事業が継続されるため受付窓口及びコールセンターを引き続き設置し、対応を行う。 (支給決定件数 1,683件うち再支給404件、支給金額 299,680千円うち再支給65,000千円、対象世帯数約7,200世帯、初回申請率 約18%、再支給率 約41%)	健康福祉部

3. 経済の再生に向け事業者を支える

No.	事業名	実績額（円）	令和3年度成果、令和4年度の対応状況など	所管部
3-1	スポーツ施設利用の制限等に伴う補償	15,735,606	大幅な減収となっている指定管理者に対して補償を行うことにより、区民への安定的なサービス提供に寄与した。	健康福祉部

4. その他の取組

No.	事業名	実績額（円）	令和3年度成果、令和4年度の対応状況など	所管部
4-1	区立障害児通所支援施設におけるICT環境整備	871,530	環境整備により、保護者の希望により通所ができない場合においてもオンライン療育を実施することができ、通所サービスと同等の支援を行うことができた。また、オンラインによる相談や保護者会の実施も可能になり、感染症感染拡大の状況に左右されず、保護者支援を行うことができた。	健康福祉部
4-2	区民活動センター等集会室貸出中止に伴う集会室使用料返還金	330,600	施設の利用キャンセルにかかる区民負担が軽減された。 (返還件数:342件)	地域支えあい推進部
4-3	プール開放事業の中止に伴う使用料の還付	97,500	中野区立学校施設の開放に関する規則第12条に基づき、使用料の還付を行った。今後も還付すべき使用料が発生した場合は適切に対応していく。	健康福祉部

令和4年度新型コロナウイルス感染症に係る医療・生活・経済支援対策事業

1. 医療など最前線の現場環境を支える

No.	事業名称	事業費(千円)	事業内容	取組状況(9月15日現在)	所管
1-1	区立施設及び窓口対応等における感染症対策	35,013	感染症対策物品の購入等により、窓口対応等における感染症対策を実施する。	順次執行している。	各部・局・室
1-2	新型コロナウイルス感染症自宅療養者支援事業	4,277	都の対象とならない短期間の自宅療養者及び入院待機者等に対し、約3日分の食料品等を詰め合わせた「自宅療養セット」を配布する。	対象者に対し、随時配送している。 ・8月末累計配達数 21セット	地域支えあい推進部
1-3	新型コロナウイルス感染症区内病院病床確保補助金給付事業	28,665	新型コロナウイルス感染症の再度の感染拡大に備え、区内病院が新型コロナウイルス感染症患者の病床を確保した場合に補助を行う。	今後の感染状況により、執行する。	健康福祉部
1-4	新型コロナウイルス感染症対策	755,912	会計年度任用職員の採用、PCR検査センター事業、患者移送、医療費公費負担(入院勧告)、感染症審査協議会の実施、コールセンターの設置、携帯電話の賃借等を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・会計年度任用職員採用 医師2人、看護師1人、保健師1人、事務補助1人 ・PCR検査センター 検査実績 919件 ・民間救急車 移送件数 314件 ・感染症審査協議会 実施回数 11回 ・入院診査 依頼回数 54回 ・携帯電話契約台数 44台 	健康福祉部
1-5	新型コロナウイルスワクチン4回目接種に伴うシステム改修等	22,086	4回目接種に係る予防接種履歴管理システム改修及び接種券・予診票印刷・封入・封緘等業務を委託する。	<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種履歴管理システム改修済 ・接種券順次発送 5/20 10,583件 	健康福祉部
1-6	新型コロナウイルスワクチン4回目接種の接種券等の送付	2,127	ワクチン接種対象者に対して4回目接種券等を発送する。	<ul style="list-style-type: none"> ・接種券順次発送 5/20 10,583件 	健康福祉部
1-7	新型コロナウイルスワクチン4回目接種に伴う相談対応等業務	55,146	4回目接種に向け相談対応(コールセンター)体制を整備する。	80回線(5月、6月)のコールセンター体制を構築。	健康福祉部

No.	事業名称	事業費 (千円)	事業内容	取組状況 (9月15日現在)	所管
1-8	新型コロナウイルスワクチン4回目接種体制確保事業	707,804	4回目接種に係るワクチン接種費用負担、集団接種実施、高齢者施設等への巡回接種、ワクチン配送、接種券の交付、相談対応等業務、予診票データ入力業務等を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・個別接種 区内医療機関 ・集団接種 中野サンプラザ集団接種会場 7月1日から8月12日 19日間 ・高齢者施設等巡回接種 出動回数10回 ・4回目接種券送付 6月から8月 約64,000件 ・コールセンター 7、8月 回線数50 	健康福祉部
1-9	新型コロナウイルス感染症対策における携帯電話賃借について	3,432	新型コロナウイルス感染症患者の増加に伴い、積極的疫学調査等を行うための携帯電話を追加契約する。また、陽性者への勧告にSMS送信を活用するため、携帯電話賃借料を増額する。	携帯電話契約台数44台	健康福祉部
1-10	オミクロン株対応ワクチン接種に伴うシステム改修等について	22,098	オミクロン株対応ワクチン接種に係る予防接種履歴管理システム改修及び接種券・予診票印刷・封入・封緘等業務を委託する。	予防接種履歴管理システム改修及び接種券の発送について準備中。	健康福祉部
1-11	新型コロナウイルス感染症在宅療養者に係る配薬調整を実施する薬剤師会への支援金	1,360	医師会からの依頼を受け、薬局に配薬依頼等の調整を行う薬剤師会に対してコーディネート料を支給する。	配役事業に対する支援金の支給4月分 105,000円 (21日分) 5月分 15,000円 (3日分) 7月分 45,000円 (9日分)	健康福祉部

2. 生活や子育て・介護などを支える

No.	事業名称	事業費 (千円)	事業内容	取組状況 (9月15日現在)	所管
2-1	在宅要介護者受入体制整備事業	15,375	在宅で要介護者（高齢者・障害者）を介護している家族等が新型コロナウイルス感染症に感染した場合に、要介護者が住み慣れた地域での生活を継続し、感染した家族等が安心して療養に専念できるよう支援体制を継続する。	4月1日から3月31日まで在宅要介護者受入体制整備事業業務委託を締結済。	地域支えあい推進部 健康福祉部

No.	事業名称	事業費 (千円)	事業内容	取組状況 (9月15日現在)	所管
2-2	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の支給 ※原油価格・物価高騰緊急対策事業も含む 【7,345千円】	240,066	緊急小口資金等の特例貸付を利用できない世帯のうち収入資産等一定の要件を満たす生活困窮世帯を対象に支援金を支給する。	窓口及びコールセンターを設置し申請相談等に対応。申請期限8月末から9月末延長に伴い新たに約100世帯（再支給勧奨を含む）に通知を発送 R3支給決定件数 1,683件（うち再支給404件） R3支給済額 299,680千円 R4支給決定件数 395件（うち再支給194件） R4支給済額 98,760千円（うち再支給45,920千円）	健康福祉部
2-3	区内障害児通所支援施設におけるICT環境整備	2,869	区立障害児通所支援施設におけるICT環境整備を推進する。	各施設とも、インターネット回線等の設置工事が6月末に完了し、オンライン療育や保護者支援への活用について、担当者会議を開催し検討を行った上で、適宜実施している。	健康福祉部
2-4	高齢者等インフルエンザ予防接種の自己負担無料化	185,802	新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行を見据え、都の補助制度を活用し、高齢者等のインフルエンザ予防接種に係る自己負担分を無料とすることで、重症化リスクや医療機関の負担軽減を図る。	予診票発送準備中。	健康福祉部

3. その他の取組

No.	事業名称	事業費 (千円)	事業内容	取組状況 (9月15日現在)	所管
3-1	区民活動センター等集会室貸出中止に伴う集会室使用料返還金	374	都の緊急事態措置等(令和元年度～令和3年度)に基づき、区では区民活動センター等集会室の貸出を中止または夜間利用の制限等を行った。これら制限に伴う集会室等使用取消申請について、納付済使用料は全額返還する。	申請があり次第返還手続きを行うとともに、未申請者に対して、時機を捉え申請手続きを促していく。	地域支えあい推進部
3-2	地域活動の再開・活性化支援	25,375	新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中でも、住民同士の支えあいなどの地域の活動が維持・継続されるよう、新型コロナウイルスの感染症対策を進めるとともに、町会・自治会及び友愛クラブへの活動支援を行う。	・町会・自治会への活動支援 活動再開活性化助成について現在36町会へ助成。 ・友愛クラブの活動支援 (1)連合会 会員増員等助成について連合会助成に加算し助成。 (2)単位クラブ 小規模クラブ助成等について申請受付中。 ・区民活動センター運営委員会業務支援 (1)利用件数：法律相談4件 (2)地域の活動支援の事業費について委託料に加算。 (3)コーディネータースキルアップ研修 8月22日・26日実施。	地域支えあい推進部

(参考) 新型コロナウイルス対策に係る令和4年度予備費の充用 (令和4年9月15日現在)

No.	内容	事業費 (千円)	所管
1	新型コロナウイルスワクチン4回目接種に伴うシステム改修等	22,086	健康福祉部
2	新型コロナウイルスワクチン4回目接種の接種券等の送付	2,127	健康福祉部
3	新型コロナウイルスワクチン4回目接種に伴う相談対応等業務	55,146	健康福祉部
4	新型コロナウイルス感染拡大防止による区民活動センター等集会室貸出中止に伴う集会室使用料返還金	374	地域支えあい推進部
5	新型コロナウイルス感染症対策における携帯電話賃借にかかる予備費充用について	3,432	健康福祉部
6	オミクロン株対応ワクチン接種に伴うシステム改修等に係る予備費充用について	22,098	健康福祉部